

令和 2年度 行政評価事業別シート

	実計対象	<input checked="" type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input checked="" type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	杉山健一
	全体計画						経費区分		実施計画事業費		内線	3312
事務事業名	14869 成年後見制度利用促進事業											
所 属	100100 健康福祉部・福祉課											
施 策	01020300 みんなで助け合う福祉											
予算科目	会計	01 一般会計										
	科目	030101 民生費・社会福祉費・社会福祉総務費										
	事業	040000 成年後見制度利用促進事業										
事業目的						事業概要・効果						
須坂市における相談窓口を整備するとともに、成年後見制度の利用が必要な人を発見し、適切に必要な支援につなげる地域連携の仕組みを構築する。						須高3市町村で成年後見支援センターを設置し、成年後見制度を利用したい人の相談支援、申立て支援や周知啓発・広報活動を行い、金銭管理や身上監護など、権利擁護の必要な人に必要な支援が行き届くことが期待される。						

PLAN-DO
年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
平成29年度 実績	平成30年度 実績
平成31年度 実績	令和 2年度 予定
	成年後見支援センターの設置に向けて関係機関との協議・調整を実施する。

指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		平成31年度 決 算	令和 2年度 予 算
事業費		0	413
特定財源	国庫支出金	0	206
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		0	207
人員数(人)	正規職員	0.0	0.0
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	0.0	0.0
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	0.0	0.0
市民一人当たりの経費		0.0	0.0
総額		0.0	413.0

(単位：千円)

平成31年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

(単位：千円)

令和 2年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	413	成年後見支援センター設置整備費負担金
その他	0	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか ・行政内部の管理運営上必要な事業であるか ・市が主体となり実施すべき事業か ・法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか ・目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	国の成年後見利用促進基本計画で令和3年度までに成年後見制度の利用促進体制を構築することが求められており、その中核となる機関を整備する必要がある。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の成果は上がっているか ・目標に対する達成度は十分か ・市民生活上の課題解決に貢献しているか ・行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか ・事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	成年後見制度の利用促進に資する地域の連携ネットワークを構築するために、核となる機関を設置するとともに、市民の身近な相談窓口として成年後見支援センターを地域に設置する。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか ・効率性向上に努めているか ・使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	整備負担金については国庫補助を活用。運営については交付税措置が図られている。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

2021年度の成年後見支援センター開設までの準備を進め委託先など具体的に進めることができた

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
<p>成年後見制度について理解を進めるためセンター整備と併せて啓発活動も実施していく必要がある。</p>		<p>成年後見センター設置は、須高三市町村・社会福祉協議会の共同設置が決定し、2021年度設置を目途に進んでいる。法人後見等の課題を計画に沿って検討していく。</p>	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	